## 第32回カデコロ記録

2021年9月28日

発表者:田畑 裕

【参加者(敬称略)】中尾、飯島、荒張、山﨑、梁、西島、村上、齋藤、高橋

【発表タイトル】自分の研究の社会的価値を考えてみた

## 【発表内容(100字程度)】

普段はイントロのひと言で終わってしまうような研究の背景課題(気候変動や食料問題など)に敢えて焦点を当て、自分の研究と社会課題がどのように関連しているのかについて考察した内容を発表した。

【次回発表者】高橋さん

世界中的集直(年平月)の変化。 概測確定がに人員・自然経済政力の実践を考慮した情況後 及び 自然記事の書館の平全を産业も前輩後(レデカル 1850~2020)

IPCC 第 6 次評価報告書 第 1 作業部会報告書 気候変動 2021: 自然科学的根拠 ヘッドライン・ステートメント (HS)

智定訳 (2021年8月20日版)

## 気候変動・温暖化と温室効果ガス排出量削減について

TBS 日本の日本での日本でイントのカリタチ、(1) 2006年までの最初を表現るとして、1006年まで、1200年まで、1200年まで、1200年まで、1200年まで、1200年までの日本では、1200年までの日本では、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年までの日本によって、1200年まで、1200年

法律改正も行われたため、政権が変わっても (おそらく) 継続する

IPCC 第6次評価報告書(環境省訳)より抜粋

CO。はどうやら減らす必要があるらしい



7/35